



ADVANTEST.

2014年度 第2四半期 決算説明会

2014年10月28日

株式会社アドバンテスト

ご注意

- ◆当社は米国会計基準を採用しております。
- ◆将来の見通しに関する記述について
本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

ADVANTEST.



ADVANTEST

2014年度 第2四半期 決算報告

取締役 兼 常務執行役員 中村 弘志

業績概要

(億円)

	2013年度				2014年度					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	実績	前期比		前年同期比	
							金額	伸び率	金額	伸び率
受注高	395	214	274	391	492	382	-110	-22.4%	+168	78.4%
売上高	301	295	197	326	368	421	+53	14.4%	+126	42.5%
売上総利益	153	135	45	160	203	229	+27	13.5%	+94	69.7%
営業利益	-33	-47	-264	-20	24	40	+16	66.1%	+87	-
税引前純利益	-28	-46	-269	-12	32	48	+16	51.2%	+94	-
当期純利益	-36	-57	-248	-14	13	33	+19	142.5%	+89	-
受注残	258	177	255	320	444	404	-39	-8.9%	+227	128.5%

ADVANTEST.

2014/10/28

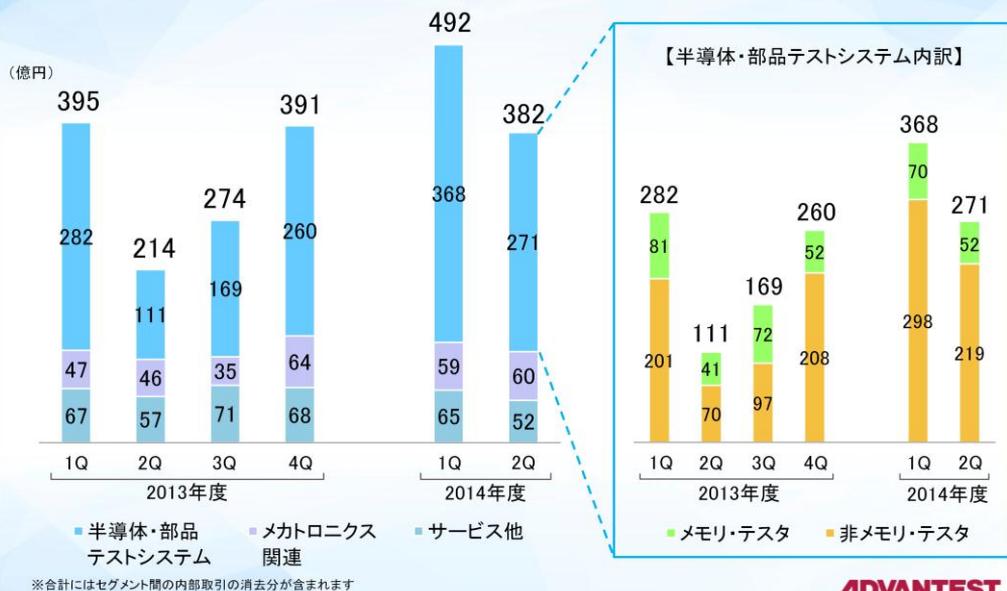
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

4

○ 2014年度第2四半期の業績概要

- 受注高 382億円 前期比 22.4%減
- 売上高 421億円 前期比 14.4%増
- 営業利益 40億円 前期比 66.1%増
- 税引前純利益 48億円 前期比 51.2%増
- 当期純利益 33億円 前期比 142.5%増
- 受注高は大型受注があった第1四半期から減少したが、対前年同期で大きな伸び
- 売上高については3四半期連続で増収を達成
- 売上増に伴い営業利益、純利益とも増加
- 受注残は 404億円 前期比39億円減少も、前年同期比では227億円増

受注高 事業セグメント別



ADVANTEST.

2014/10/28

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

5

○ 2014年度第2四半期の事業セグメント別受注高

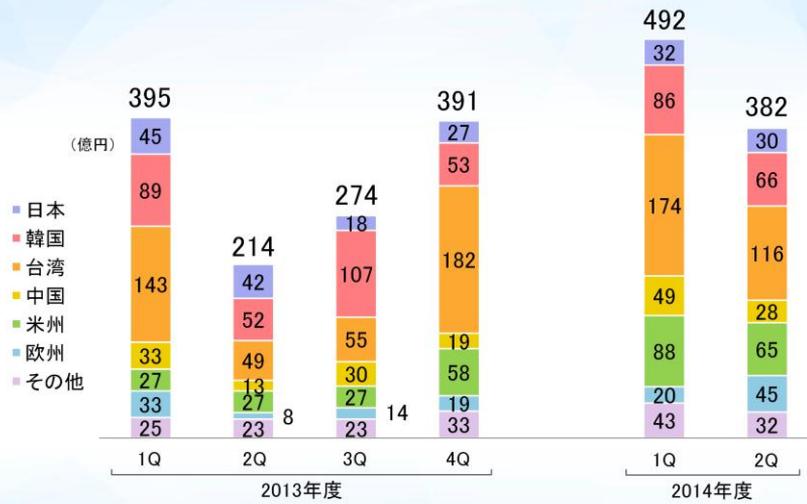
○ 半導体・部品テストシステム事業

- 前期比27%減 271億円
うち非メモリ・テスト 219億円
メモリ・テスト 52億円
- 第1四半期の大型受注の反動もあり、非メモリ・テストが減少したが、MPU向けやディスプレイ・ドライバIC向けが予想以上に伸び、減少幅は想定より小幅にとどまる
- メモリ・テストは、顧客の投資時期変更の影響を受け、若干の受注減

○ サービスその他事業

- 前期比19%減 52億円
- 季節性の保守契約件数減少

受注高 地域(出荷先)別

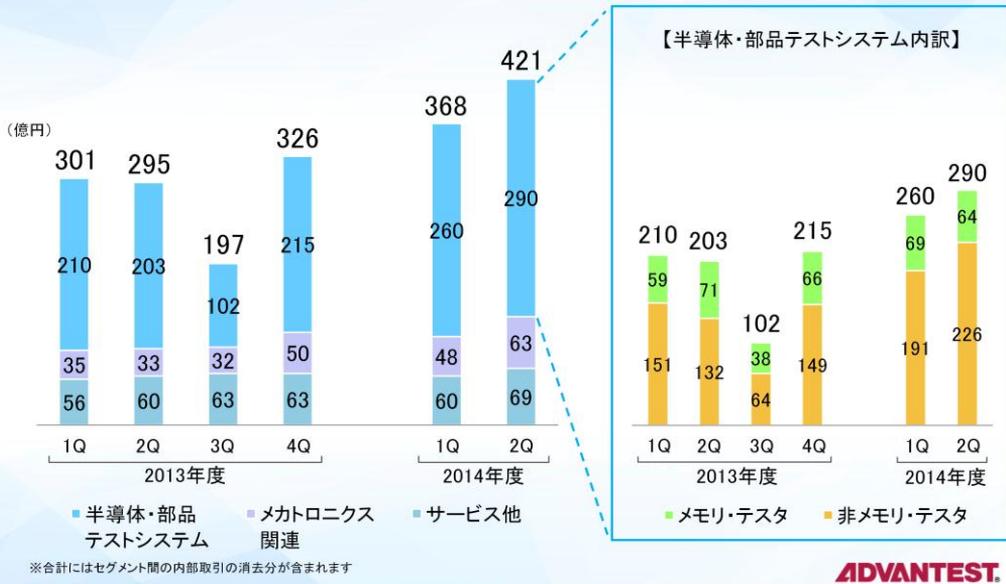


ADVANTEST.

○ 2014年度第2四半期の地域別受注高

- 台湾、中国
スマートフォン関連の受注が減少
- 韓国
メモリ・テスト受注の減少

売上高 事業セグメント別



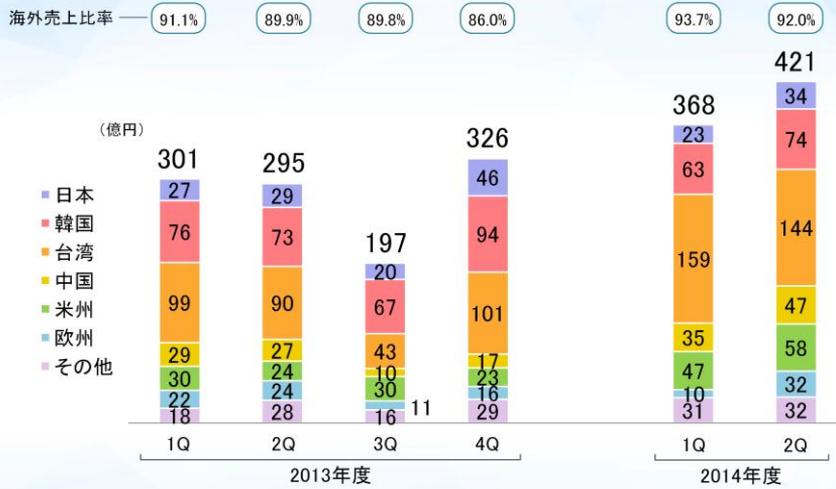
○ 2014年度第2四半期の事業セグメント別売上高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- 前期比11%増 290億円
うち非メモリ・テスト 226億円
メモリ・テスト 64億円

- 第1四半期に受注好調だった非メモリテスト「V93000」と「T2000」の売上が伸びた

売上高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

○ 2014年度第2四半期の地域別売上高

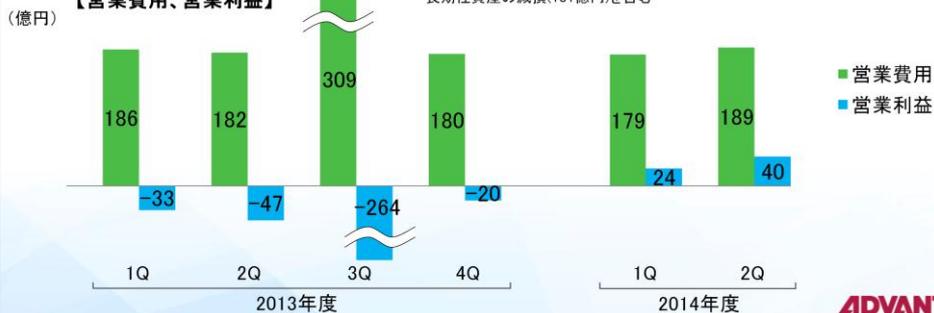
- 第1四半期以降のスマートフォン関連、PC関連需要の伸びを反映
ほぼ全地域で増加

売上総利益率/営業費用/営業利益率

【売上総利益率】



【営業費用、営業利益】

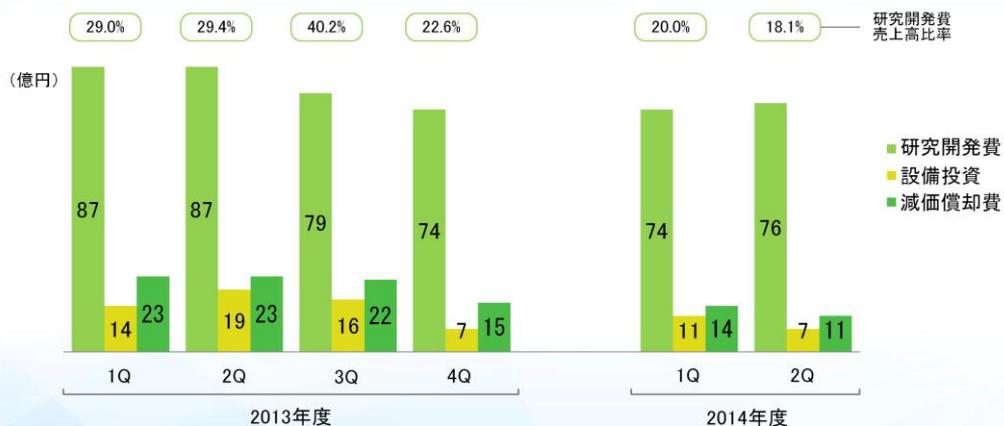


ADVANTEST.

○ 2014年度第2四半期の営業損益

- 売上総利益率 54.6%
採算性の良いテストシステムの売上比率が第1四半期に引き続き高かった
- 営業費用 189億円
売上増に伴う販管費の増加、業績好転に伴う賞与の増加
- 営業利益 40億円

研究開発費/設備投資/減価償却費



ADVANTEST.

2014/10/28

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

10

○ 2014年度第2四半期の研究開発費等

- 研究開発費 76億円
賞与増の影響で若干の増加
- 設備投資 7億円
- 減価償却費 11億円

バランス・シート

(自己資本)	1,369	1,163	1,147	1,268
(自己資本比率)	61.7%	50.6%	49.4%	50.8%

(億円)



ADVANTEST.

2014/10/28

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

11

○ 2014年9月末時点のバランス・シート

○ 資産の部

- ・ 現金預金
前期末比 93億円増 835億円
- ・ 総資産
前期末比 176億円増 2,498億円

○ 負債・資本の部

- ・ 自己資本 1,268億円
- ・ 自己資本比率
2014年6月末比 1.4ポイント増 50.8%



ADVANTEST.

2014年度 事業見通しアップデート

“順調な上期 堅調な下期”

代表取締役 兼 執行役員社長 黒江 真一郎

2014年度業績予想

(億円)

※2014年度業績予想 為替前提:1米ドル=105円、1ユーロ=140円

	13年度 上期	13年度 下期	13年度 通期	14年度 上期	14年度 下期新予想	14年度通期 新予想	14年度通期 従来予想	増減
受注高	609	665	1,274	874	676	1,550	1,470	+80
売上高	596	523	1,119	789	731	1,520	1,450	+70
半導体・部品 テストシステム	413	317	730	550	420	970	900	+70
メカトロニクス関連	68	82	150	111	169	280	250	+30
サービス他	116	126	242	129	141	270	300	-30
営業利益	-80	-284	-364	64	56	120	100	+20
税引前純利益	-74	-281	-355	80	57	137	100	+37
当期純利益	-93	-262	-355	46	34	80	75	+5
受注残	177	320	320	404	350	350	340	+10

※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

2014/10/28

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

13

○ 2014年度業績予想

- テスタ需要の底堅さを踏まえ、通期受注高及び売上高予想をそれぞれ
受注 1,470億円 から 1,550億円
売上 1,450億円 から 1,520億円 へ見直し
- 下期については、テスタ需要の季節性があるものの、
受注高 630億円 から 676億円
売上高 700億円 から 731億円
- 季節性により3Q受注は2Qに及ばないものの、年明け以降受注は増加する見通し
- メカトロニクスとサービス他事業は下期の売上増を見込む
- 下期の売上総利益率は、上期同様、50%台中盤を維持できると予想
- 営業費用についても大きな支出予定はない
- 売上高の通期予想修正に伴い、各利益予想も
営業利益 100億円 から 120億円
税引前当期純利益 100億円 から 137億円
当期純利益 75億円 から 80億円

へ、それぞれ修正

ハイライト

■ テスタは非メモリ中心に順調な売上進捗

- 上期は中国LTE関連需要が全体を牽引したほか、MPU向けやディスプレイ・ドライバIC向けでも想定以上の需要
- 下期のテスタ売上は前年同期以上の水準を見込む

■ テスタ以外の事業拡大に手応え

- メカトロニクス関連事業、サービス他事業の増収基調が継続
- 両事業セグメントとも、下期のさらなる増収を見込む

■ これまでの経営方針を維持

- コスト節減と売上最大化の取組みを堅持、利益改善を追求

ADVANTEST.

○ 今後の事業の見通しについて

- 2Q受注は前期比減少したが、MPUやディスプレイ・ドライバIC向けの需要が想定以上となり、上期は事前の予想を超える売上と受注残となった
- この先半年間のテスタ市場は底堅い推移が予想され、前年同期以上のテスタ売上を達成できると見込む
- メカトロニクスやサービス他も上期からの増収基調を継続
- 今までの取組みにより、この2つの事業セグメントはこの下期、さらに増収できるものと想定
- また今期の当社の最大のフォーカスは、引き続き利益の改善・最大化
コスト節減と売上増の取組みを堅持

テスト事業の見通し

■ 非メモリ・テスト・システム

- 中国向けなどローエンド／ミッドレンジ・スマートフォンの市場拡大がテスト需要の軸
- ディスプレイ・ドライバIC向け新製品「T6391」を年末より販売開始
タッチセンサ機能混載など、ディスプレイ・ドライバICの高性能化に合わせ伸長するテスト需要を取り込む
- アナログ市場開拓に向けた新ソリューション「EVA100」を拡販



【ミクスドシグナル計測システム「EVA100」】

■ メモリ・テスト・システム

- DRAM次世代規格品の量産開始を見据えた後工程向けテストの堅調な需要を下期見込む
- DRAM前工程、NAND向けのテスト投資回復を2015年初より期待



【DDR4/LPDDR4向けメモリ・テスト・システム「T5503HS」】

ADVANTEST.

○ テスタ事業の見通し

- 非メモリ・テストは、中国向けなどのローエンド／ミッドレンジスマートフォン市場の拡大が、下期も引き続き受注と売上の軸
- 事業強化のため、2つの非メモリ・テスト新製品を投入
- ひとつは、タッチセンサ混載など、高機能化が進むディスプレイ・ドライバIC向け「T6391」
- もうひとつは、スマートカーのECUなど、今後高機能化が予測されるアナログICに向けた、新たな計測とテストソリューション「EVA」
- メモリ・テストの受注、売上については、堅調な先行きを見込む
- DRAMでは、DDR4やLPDDR4など、次世代規格品の量産開始を見据えた後工程投資が下期全体に続く見通し
- DRAM前工程やNANDフラッシュは、2015年頭からの顧客の投資を期待

メカトロニクス事業の見通し



【MASK MVM-SEM®「E3640」】



【SoCテスト・ハンドラ「M4871」】

■ ナノテクノロジー製品

- CD-SEM中心に下期さらなる増収を見込む
- 今後の事業拡大に向け、先端プロセス開発や微細加工品の製造/検査領域で拡販策展開

■ デバイス・インタフェース

- 堅調なテスト需要と連動した、安定的な需要推移を想定

■ テスト・ハンドラ

- SoCテスト・ハンドラ「M4871」を下期に出荷開始

ADVANTEST.

○ メカトロニクス関連事業についての見通し

- ・ 今年度メカトロニクスで最も期待しているのは、ナノテクノロジー製品
- ・ 半導体の微細化に伴う、フォトマスク用CD-SEMの引合いは変わらず好調。事業セグメント増収の柱となる
- ・ 今後の事業拡大に向け、先端プロセス開発や微細加工品の製造/検査用途でEB露光装置とCD-SEMの受注拡大をはかる
- ・ デバイス・インタフェースは、テストと需要連動性があり、下期も安定的な需要推移を見込む
- ・ テスト・ハンドラは、通信用半導体や車載半導体向けで好調な当社の主力テスト「V93000」とのシナジーを見込む
SoCハンドラ「M4871」を、下期より出荷開始

サービス他事業の見通し

■ フィールド・サービス

- 年間保守契約の順調な増加

■ テラヘルツシステム

- テラヘルツ波を用いた非破壊検査能力に対し医薬品など広範な産業界から引き合い
- 半導体パッケージ厚の非破壊測定ニーズに対応する新製品「TS9000」に期待



【チップ・モールド厚解析システム「TS9000」】

■ SSDテストシステム

- データセンター用で需要拡大中のエンタープライズ向けSSDがターゲット
- 下期の売上増を見込む

ADVANTEST.

○ サービス他事業について

- フィールド・サービス事業の順調な年間保守契約の増加とテラヘルツシステムとSSDテストの2つの新規事業の貢献により下期増収を見込む
- テラヘルツ波を使った非破壊検査機器は、医薬品をはじめとする広範な産業界から引き合い増加中
半導体パッケージ厚の非破壊測定用の新システム「TS9000」にも今後期待
- 1Qから販売開始したSSDテストは、上期に大手複数社から受注獲得と上々の滑り出し。下期は順調な受注・売上の増加を見込む